

# 亀岡市立育親学園の開校に向けて

令和6年2月1日発行 Vol.7

いよいよ4月に開校する亀岡市立育親学園について、学校や教育委員会で取り組みを進めていることをお知らせします。

## 西部4校事前交流事業の実施について

### ◆交流事業について

今年度の取り組みとして、4月の開校をスムーズに迎えられるよう、交流事業を実施しています。2学期までは、3小学校間でそれぞれ学年ごとの交流を進めてきましたが、1月19日（金）には、本梅小学校・畑野小学校・青野小学校・育親中学校の児童・生徒全員が育親中学校に集まり、登校から下校まで、開校後の1日の生活を体験しました。

### 《登校の様子》

朝は、スクールバス及び徒歩による集団登校を実施しました。保護者や地域の方にも見守りをいただきながら、概ね予定どおりの時間で登校することができました。



### 《授業の様子》

1校時から6校時まで、それぞれの学年で授業を実施しました。

また、新たに整備した配膳室を活用し、1年生から6年生は給食を食べました。



### 《特別授業》

5時間目は、育親学園の校歌を作詞・作曲していただいた作曲家のエイコンヒビノさんをお招きし、特別授業を実施しました。調整会議のメンバーも見学されるなか、校歌に込めた想いをお聞きしたり、全員で校歌を歌うなど交流を深めました。



これまでに調整会議や学校、教育委員会で検討を重ねてきた結果、第1回4校交流事業を無事に終えることができました。今後、改善すべき点や新たに気づいた課題について、学校及び教育委員会で共有するとともに、子どもたちが感じたことも踏まえ、次回の交流事業や4月の開校に向けさらに取り組みを進めてまいります。

## 育親学園における学習活動について

### ◆義務教育学校の特色を生かした学習活動の実施について

義務教育学校は、通常の小中一貫校とは異なり、小学校と中学校との間に区切りが存在しないため、従来の「6-3制（小学校の6年間と中学校の3年間）」の編成にとらわれることなく、柔軟に学年制を編成することができます。

育親学園では、こうした義務教育学校の特色を活かして「4-3-2制」を導入し、様々な学習活動を進めていくこととしています。

### ○「4-3-2制」を導入するメリット

#### ・柔軟なカリキュラムを組むことができる。

⇒細かなまとまりにすることで、つまづきやすい学習内容の振り返りや、反対にカリキュラムを早めるなど、児童生徒に寄り添ったきめ細かな指導を行うことができます。

#### ・「中一ギャップ」の緩和や解消を図ることができる。

⇒「中一ギャップ」とは、小学校・中学校間の環境の変化によって、子どもたちが身体的・精神的に負担を感じてしまうことを指します。小学校・中学校間の区切りを無くすことで、それらの緩和や解消に繋がります。

#### ・細かなまとまりによる他の年代との交流により、精神的・社会的な成長を促すことができる。

⇒「4-3-2制」にすることで、これまで6年生や9年生が担ってきたリーダーシップをとる役割を、4年生や7年生の早い段階で経験することとなります。上級生から下級生への思いやりの学びなどにより精神的・社会的な成長を促します。

### ○それぞれのステージの名称とねらい

育親学園の「4-3-2制」における、ステージの名称及び学習のねらいは下記のとおりです。

- ・『1stステージ』（1年生～4年生）・・・【学びの基礎をつくる期間】
- ・『2ndステージ』（5年生～7年生）・・・【学びを広げる期間】
- ・『3rdステージ』（8年生～9年生）・・・【学びを深める期間】

※こうした一方で、通学方法や制服に関する事など、従来の「6-3制」を引き継ぐ部分もありますが、おおまかな活動としては「4-3-2制」を導入し、児童生徒にとってより良い教育環境を整えてまいります。

また、それぞれのステージにおける具体的なカリキュラムについては、4月に育親学園の学校長が決定することとなります。

## 今後の取組について

○第2回目の4校交流事業を2月9日（金）に実施します。

○4月には、開校式を予定していますが、内容については現在検討を進めています。



（ホームページ 二次元コード）

お問い合わせはこちらへ

亀岡市教育委員会

育親学園の設置や施設に関する事

教育内容や通学に関する事

かめおか児童クラブに関する事

教育総務課 0771-25-5052

学校教育課 0771-25-5053

社会教育課 0771-25-5199